

# DXの取り組み 2026

---

2026年6月24日  
株式会社西行土木

# 代表メッセージ

デジタル時代の競争力強化を目的として、2024年に業務プロセスや組織、企業文化・風土を変革する「DX推進チーム」を立ち上げました。

2026年は、DX推進チーム内に「DX推進委員会」を設立し、各部署のニーズを統合し、デジタル変革を一元管理する司令塔として役割を果たしていきます。

お客様・社員の多様な意見を吸い上げ、課題や将来に向けた変化の兆しを随時分析・把握し、自社のビジネスモデルを変革させて、業界全体へ新しい価値を提供していきます。

代表取締役 西行泰弘

# ミッション

---

ステークホルダーの皆様に「誠実さ」をもって接します。

真に豊かな社会の創造を目指して常に「意欲」をもって  
チャレンジします。

優れた「技術」と質の高いサービスを提供します。

# DXビジョン

当社は、社会基盤を支える重要な業種でありながら、人手不足ならびにデジタル化の遅れに直面しています。

2030年に向けて、AIやロボットなどのデジタル技術を活用し、現場の生産性を向上させ、持続的成長に向けた建築を実現していきます。

## 【人と人を築く】

全社員がデータ活用とデジタル技術を使いこなし、自律的に業務を変革する「全員DX」を推進します。

## 【本社と各現場を築く】

あらゆるデータやノウハウを全社横断で、効率的にやりとりできる仕組みを構築します。

## 【建設業界の未来を築く】

ICTやIoT、AI、クラウドなどのデジタル技術を共有することで、建設業界全体のプロセスの最適化に取り組みます。

# DX戦略

## 【DX推進体制の強化（DX推進委員会の設立）】

現場・業務部門・IT部門との連携を強化し、ガイドラインの策定、各部門への技術支援、人材育成を担うために、全社横断型チームを構築します。

## 【業務効率の改善と自動化】

生産性と業務品質を向上するために、定型業務を自動化します。

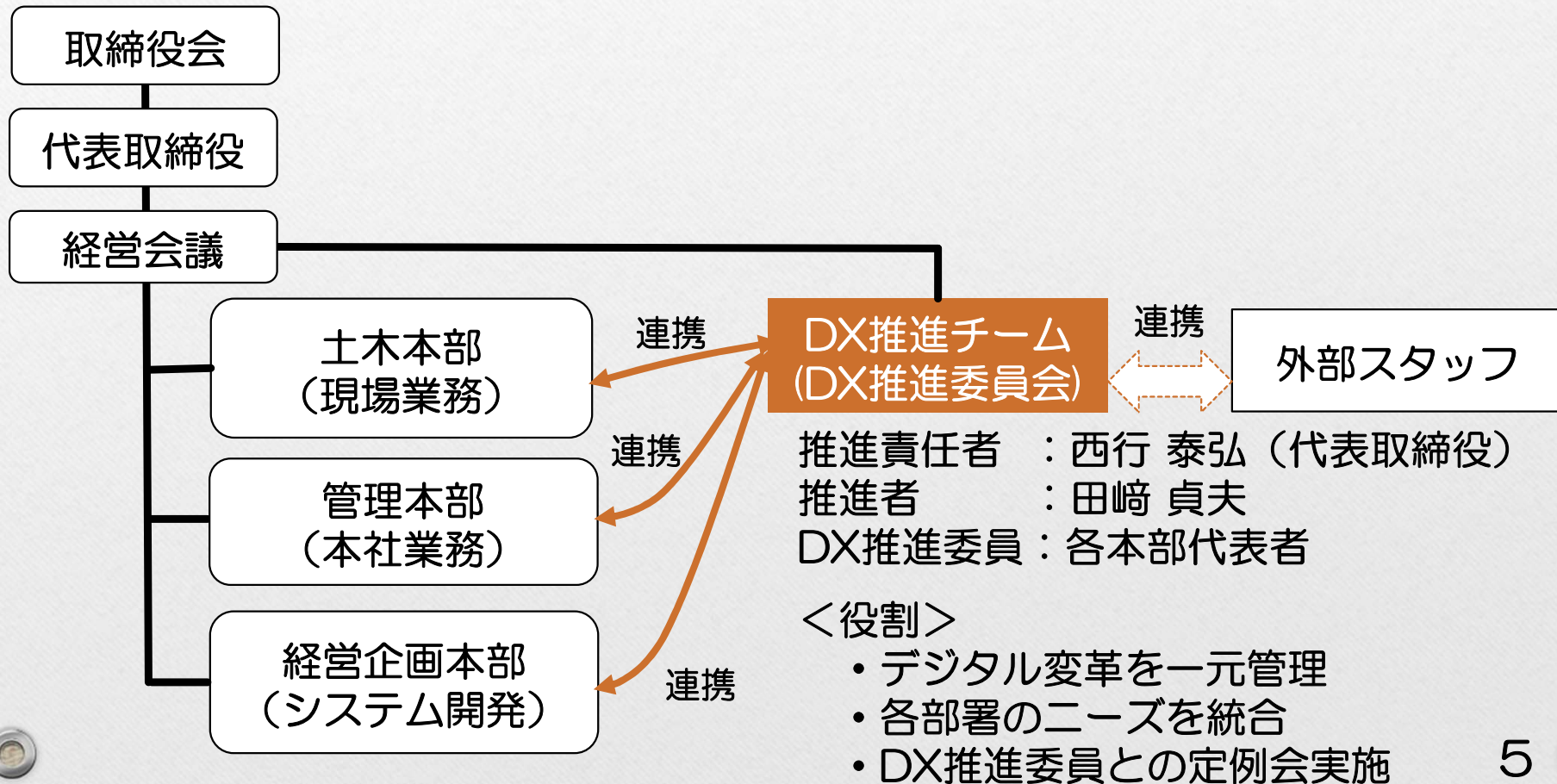
## 【データドリブンによる意思決定】

意思決定の迅速化を図るために、各種情報を全社員が共有するクラウドに移行します。

## 【デジタル人材の育成と顧客体験の向上、新たなビジネスモデルの創出】

デジタル技術を活用できる能力を身につけるために、全社員がデジタル関連のスキルを習得します。

# 社内体制 DX推進チームの位置づけ



# デジタル人材育成

---

## 【AI社員】

組織の一員として業務を担います。

## 【一般社員（業務変革）】

デジタルリテラシーを底上げし、DXマインドを醸成します。

## 【管理職（事業変革）】

マネジメント力を強化し、変革を推進できるリーダーを育成します。

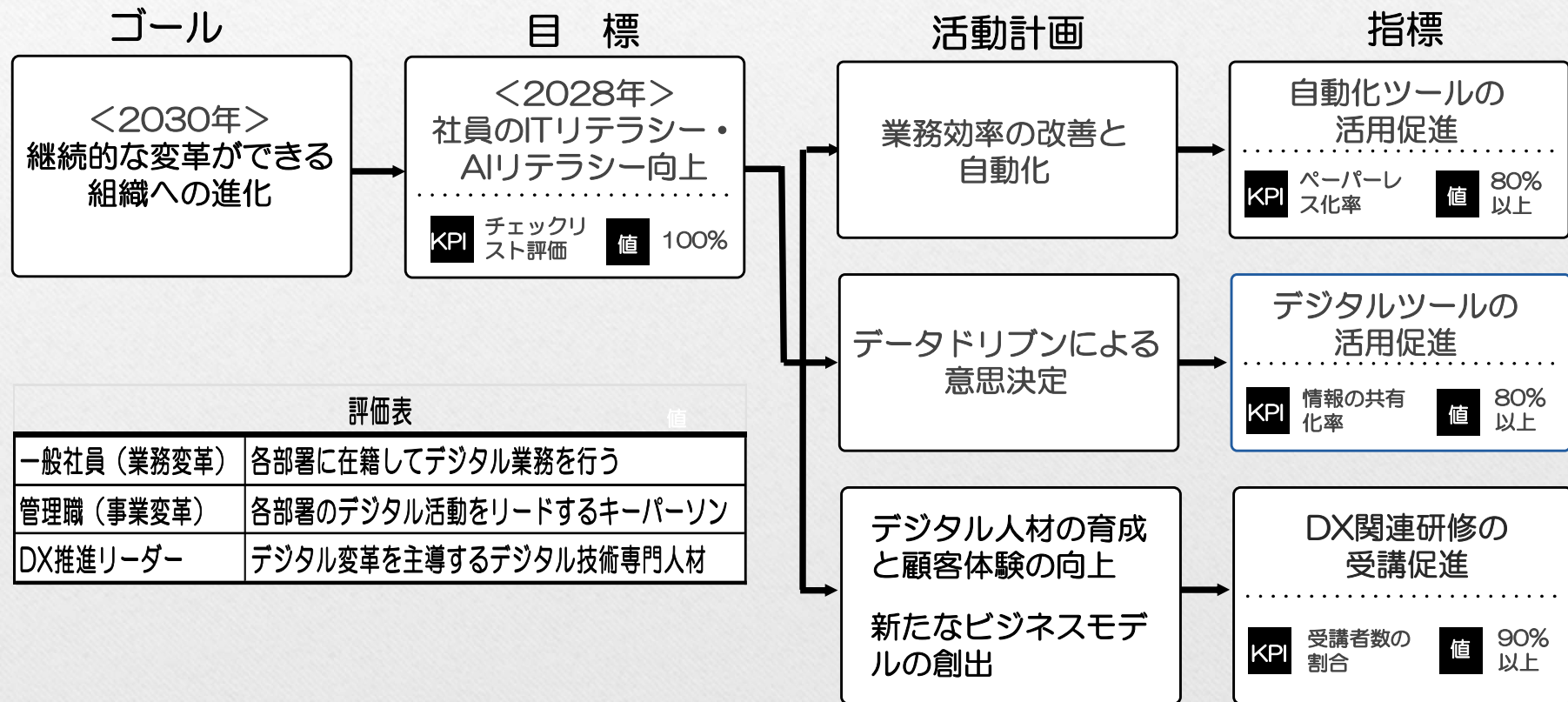
## 【DX推進リーダー】

DXを推進できる中核人材を育成します。

# 活動計画

	現在	2年後	4年後
業務効率の改善と自動化	ペーパーレス化 (紙→電子化)	プロセス時間短縮 (自動化)	業務改善 (AI社員活用)
データドリブンによる意思決定	データ活用範囲 (個別)	データ活用範囲 (全社横断)	ビジネス変革
デジタル人材の育成と顧客体験の向上	安全性の向上 (危険の予知・予防)	技術継承の円滑化 (技術のデータ化・効果的なトレーニング)	働き方改革 (多様な働き方の実現)
新たなビジネスモデルの創出	事業(再構築)の検討	実行可能な計画の策定	新規事業の展開

# 成果指標 (KPI)



# 情報セキュリティ基本方針

制定日 2024年8月22日  
株式会社西行土木  
代表取締役社長 西行 泰弘

- 1. 経営者の責任**  
当社は、経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努めます。
- 2. 社内体制の整備**  
当社は、情報セキュリティの維持及び改善のために組織を設置し、情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます。
- 3. 従業員の取組み**  
当社の従業員は、情報セキュリティのために必要とされる知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取組みを確かなものにします。
- 4. 法令及び契約上の要求事項の遵守**  
当社は、情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守するとともに、お客様の期待に応えます。
- 5. 違反及び事故への対応**  
当社は、情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反及び事故が発生した場合には適切に対処し、再発防止に努めます。